

タイトル：私という人

学校名・学年：岸和田市立光明小学校・6年

名前：植村 有

(本文)

私は小さい時から音に敏感で、特に初めて体験する時や体調が悪い時は小さな音でも不安感でいっぱいになることがあります。

だから、家でも学校でも、たくさんの人に心配をかけています。

私はなぜこんな体なんだろう、人にめいわくや心配をかけてばかりじゃないかな。と自分のことが嫌になったり、このこと自体を考えるのが嫌になる時もあります。

でも家族はいつも大丈夫とそばにいて話を聞いたりアドバイスをしてくれるし、学校の中では、どの先生も私に寄り添って対応してくれます。友達も大きな音が鳴るような時は「怖くない？大丈夫？」と横に来て声をかけてくれたりします。クラスメイトが大きな音を立てた男の子に「やめたって！有の耳痛いやろ！」と止めてくれたこともありました。

思い返すと、ここに書ききれないくらい周りの人達に理解してもらって助けられながら生活している事に気付きました。

こんな私の性格は外見からはわかりません。私の周りにはいる人達の中にも、私が知らないだけで見ただけではわからない不安な気持ちや悩みを抱えている人がいるかもしれないと思います。

人が嫌な思い、不安な気持ちになっていることに気づいたら私は人からやってもらっているように自分が出来る事をやっていきたいと思います。

自分が持っている性格や個性を当たり前「自分」として認められて、全ての人が幸せに暮らせたらいいなあと思います。